

香川県へ
ようこそ！！



令和 5 年 10 月 吉日
高 松 信 用 金 庫

高知信用金庫の理事長が来庫されました！

四国地区信用金庫協会の会員金庫であり、高知県に本店を置く、高知信用金庫の山崎理事長が意見交換のため、去る令和 5 年 10 月 5 日（木）に来庫されました。

高知信用金庫は 1923 年 1 月 25 日に須崎市（旧須崎町）で創業し、今年 100 周年を迎えた歴史のある信用金庫です。「高知に生きる、人のために働く。」を掲げ、地域社会のインフラ創りに注力し、創業の地である須崎市で取り組む「海のまちプロジェクト」、地域の課題とアニメ業界の課題の解決を目指す「高知アニメクリエイター聖地プロジェクト」など、地域の活性化に向けた様々な取り組みを行っています。

当金庫の本店で行われた意見交換会では、当金庫の「キッズクラブ」や「キャリスタ塾」の活動について説明し、率直な意見交換を行いました。また、高知信用金庫の「創業 100 周年記念式典」のスペシャルムービーを拝見し、須崎の役場の片隅に置かれた、たった一つの机から始まった創業ストーリーや、故山本正男終身名誉会長の経営哲学、100 周年プロジェクトなど、高知信用金庫の歴史や取り組み活動についてのご説明を頂き、理解を深めることができました。



左：高知信用金庫 山崎久留美理事長／右：当金庫 大橋理事長

特に印象的なのは、高知信用金庫は南海トラフ地震が発生した場合を想定し、信用金庫の危機管理だけでなく、地域住民のためのシステムも独自に開発されていることです。原子力発電所並みの耐震性を持つ危機管理センターを高知市春野町に建設し、本部機能の大部分を高知市はりまや町から高



知市春野町へ移転しています。

また、天災リスク対策の一環として、万一の災害時にも地域住民の皆様のお取引に支障を来たすことの無いよう、顔パターンと手のひら静脈を組み合わせた業界初のハイブリット認証システム「かおとて ID サービス」を独自開発されています。罹災時には、通帳やキャッシュカード・本人確認書類などが全て喪失することを想定し、通帳やキャッシュカードが無くとも「口座特定」「本人認証」を行い、預け入れや引き出し等の取引ができるものです。

こうした、地域への強い思いを胸に日々進化し続ける高知信用金庫との意見交換会を生かし、今後とも高知信用金庫と密接な連携を行い、当金庫も、地域活性化のため努めて参ります。



意見交換会で双方の取り組みをまとめた DVD を視聴



左：信金中央金庫四国支店 清田直人支店長／中：高知信用金庫 山崎久留美理事長／右：当金庫 大橋理事長

